



かとう ひろき 議員
加藤 宏樹

旧国道と石川街道の整備計画は

石川街道は本年度より事業着手

私道整備を積極的に

加藤 私道とはいえ、町の上下水道等が布設され、公益性からも、町に積極的に整備して頂きたい。

また、私道の寄附、規制、条件の緩和や、私道の購入も検討して頂きたいが、町の考えを伺います。

町長

私道の整備につきましても、道路の幅員や延長、受益戸数等の一定条件を満たした場合、整備費用の10分の7から10分の8を補充する制度があり、また私道は、あくまで個人、共有者の財産であり、今後も町が直接、道路整備を行うことはありません。

一定の要件を満たした私道については、寄附、及び補助金を活用した道路整備



石川街道

備が可能である。又、上下水道管の整備については、開発者が整備することが原則である。しかし、公共下水道区域においては、「矢吹町私道内公共下水道布設要綱」に基づき、一定の布設の要件を満たした私道整備について、関係者からの願い書により、町で下水道管を整備する場合もある。上下水道の管理については町へ無償で帰属することで協議しており、帰属後は町が適切に維持管理を行いますので、今後基本的な考え方を定める予定はありません。

運動公園予定地の利活用を早期実行すべき

加藤 この土地の利活用の早期実現は町民の真意であり、出来る事から少しずつ着手して頂きたい。

例えば、森林公園として、多目的広場やウォーキングコース、クロスカントリーコース、フォレストアドベンチャーというアスレチックなどを考えてはどうか、町の考えを伺います。

町長 人口減少時代を見据えた中では、公共施設等の統廃合は避けて通れない課題であり、中でも現在、検討を進めている教育、社会教育施設等が抱える課題の解決に向けた用地としての利活用も、選択肢の一つと考える。これら各種施設等の整備は、莫大な費用を要するため、現在の地形や環境をいかした矢吹花の森公園構想等、園芸産業の振興や観光資源の創出につながる、ソフト的な事業も検討します。

旧国道と石川街道の整備計画は

平成28年度は、本事業のたたき台となる基本構想の策定を予定し、仮称「旧総合運動公園用地利活用検討委員会」を組織し、有識者、関係団体、町民の皆さんから広く意見をいただきながら、多方面から検討を深めています。

加藤 平成24年度に旧国道と石川街道の整備計画の住民説明会があったが、その後の進捗状況と実行性の高い都市計画道路としていつ申請するかを伺います。

町長 複数路線の同時期の整備は、現在の財政状況では困難であるため、緊急性、優先度の高い路線から計画的に事業を進める。

本年度より事業に着手する石川街道は、道路沿線の住民や地権者を対象とした事業説明会を再度

開催し、事業同意後に、路線測量に着手し、現地調査、道路の概略設計を行う予定です。

この測量設計の成果を基に、社会資本整備総合交付金事業の要望申請を行い、平成29年度から、実施設計、用地買収、物件補償等、本格的に事業を推進します。旧国道は、石川街道の整備に一定の目途が付いた後の事業着手となります。

その他の質問事項

- ・ブリティッシュヒルズ研究縮小の理由について
- ・道の駅構想について
- ・大正ロマンの利活用について
- ・矢吹駅周辺地区都市再生整備計画について
- ・駅北側の道路整備について

町政を問う(一般質問)